

令和3年度 第2回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 令和3年10月26日（火） 午後2時～午後3時30分

【場 所】 豊田市役所東庁舎大会議室4

【出席者】 <委員>

脇田 弘久〔愛知学院大学商学部 教授〕
松永 郁也〔豊田商工会議所 常議員〕
河原 郁子〔とよた下町おかみさん会 平成30年度会長〕
首藤 政俊〔市民公募〕
杉山 裕貴〔市民公募〕
新田 都子〔高岡地域消費者グループ 代表〕
元岡 征志〔シー・プロジェクト 代表中小企業診断士／社会福祉士〕
杉田 雅子〔株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役〕
(計8名)

<事務局>

西脇 委千弘〔豊田市産業部部長〕
脇迫 博文〔豊田市産業部商工振興室〕
成瀬 剛史〔豊田市産業部商業観光課課長〕
藤田 憲彦〔豊田市産業部商業観光課副課長〕
吉野 佑美〔豊田市産業部商業観光課担当長〕
鳥山 湖〔豊田市産業部商業観光課主事〕

【傍聴者】 なし

【次第】

- 1 産業部長あいさつ
- 2 委員長あいさつ
- 3 本日の審議スケジュール等について
- 4 議事
 - (1) 商業活性化プランの進捗状況について
 - (2) コロナ禍における支援状況等について
 - ・豊田市テレワーク等利用促進補助、とよた夏割、宿割
 - ・WE LOVE とよた応援飲食券
 - ・新型コロナウイルス環境整備事業補助金
 - (3) 中心市街地商業業況調査
- 5 その他
令和3年度 商業振興委員会開催予定について

【会議録（要約）】

4 議事

(1) 商業活性化プランの進捗状況について

商業観光課から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

沢山の補助金制度があるが、利用者が少ない。どのように周知しているか。

事務局

HPに情報を掲載している。

⑩魅力あふれる店舗創出事業補助金は商業アドバイザー派遣事業と絡めていることから、推薦団体である商工会議所・商工会・豊田信用金庫を通じた周知を図っている。

委員

市側からこんな補助が受けられますといった投げかけをしているということか。

事務局

情報を探ることができる状態ではあるが、さらなる周知方法を検討していきたい。

委員

⑩新ビジネスおうえん補助金のクラウドファンディングによる資金調達への補助について、自身も3件のクラウドファンディングをやったことがあるが、成功させるには文章や写真の見せ方などのテクニックが必要だと感じた。そこをフォローしてもらえるアドバイザーのような制度があれば利用に繋がるのではないか。

また、⑭働き方改革アドバイザー・講師派遣を昨年度実際に利用したところ、とても良い制度だった。自分がこの制度を知ったきっかけは口コミだったため、もっと知ってもらえる機会が増えると良い。

委員

どの制度が自分の商店街やお店で使えるものなのかを判断する必要がある。対象を知るところから始まると思った。

委員

いかに告知をして制度自体を理解してもらい、活用に繋げるか、今後の課題として検討いただきたい。

(2) コロナ禍における支援状況等について

- ・豊田市テレワーク等利用促進補助、とよた夏割、宿割
- ・WE LOVE とよた応援飲食券
- ・新型コロナウイルス環境整備事業補助金

商業観光課から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

とよた夏割の利用金額が大きく、とても良い制度だったと分かった。対して、豊田市テレワーク等利用促進補助金の利用金額が少ない。何が原因だと考えられるか。

事務局

市内在住・在勤・在学の方に限っていたことが影響している。学校などとも連携して周知を行ったが、あまり伸びなかった。周知方法は今後も検討していきたい。最近ではコロナの感染状況が落ち着いていることもあり、「宴会場・会議室等貸出プラン」の利用が増えてきている。デイユースプランは単価が低い傾向があるが、こちらは上限30万円の補助であり、今後の状況次第で利用金額も増えていくと考えている。

委員

先日バーを何件か見たところ、ほとんど客が入っておらず、緊急事態宣言が解除されてもお客さんの気持ちがついていっていないと感じた。

事務局

事業者からもそのような声を聞いている。しかし、夏割の利用者に地域の飲食店を使ってもらえるような仕組みづくりを自主的に行った事業所もあり、事業者側の活気が戻ったと言える効果があった。稲武地区では、ブルーベリー狩りやバーベキューと組み合わせて家族連れに利用しやすいプランを作るなどの動きがあり、評判も良い。

ようやく自粛ムードから抜けつつある状況で、どのようにお客様を呼び戻すかが今後の課題である。

委員

稲武地区では夏割を活用し、多くの方が地元飲食店などを利用された。予約された方に夏割をご案内するとほとんどの方がこの制度を知らなかったため、残念だと思った。

「次代を担う商業の育成」について、ずっと配達事業をやりたいと思っており、愛知県に補助申請したが通らなかった。生もの場合は保冷車が必要で、レンタカーだと高くなってしまうため、補助金で購入できると稲武地区の商品を豊田市の中心部で販売することができ、事業の幅が広がる。ぜひ移動販売車両にも補助が出るような制度設計を検討してほしい。

委員

とよた応援飲食券がデリバリーでも利用できるのを魅力に感じ、3次販売で申し込んだ。しかし、申込完了メールの後で支払いについてのメールが届き、手続きが複雑で面倒だった。もしまた行うのであれば1回の手続きで簡単に購入できるようにしてほしい。

委員

商業観光事業者向けの生産性向上や情報発信のための、デジタル化やICT活用を促進する事業はあるか。

事務局

産業部の産業労働課という、工業を主体に支援を行っている部署がある。資料1の②中小企業経営力高度化支援事業は産業労働課が今年度始めた事業で、全業種を対象とし、人材育成、人材の確保、販路拡大、BCP策定、事業承継(M&A)を支援している。また、④働き方アドバイザー・講師派遣では、働き方改革を目的とした経営者の支援を行っている。

冒頭でご意見いただいたPR方法については、現在SNS、HP、新聞メディアなど、思いつく方法をやりつくしている状況である。口コミや、直接事業者に働きかけるアドバイザー派遣に効果を感じているため、これを踏まえて今後も検討していきたい。

委員

環境整備補助金の申請が思いのほか少ない。市だけでなく会議所等の協力団体からもPRしてもらおうなど、広く働きかけてほしい。

とよた応援飲食券の3次販売はWeb申込のみだったが、Web操作が苦手な方の為に書面やハガキでの受付があってもよかったかと思った。また、利用可能店舗に登録するためには指定の金融機関口座を持たなければならないといった制約があり、申し込みをやめたとの声も聞いている。

夏割は利用者数が多く、良い事業だった。宿割はあいち旅eマネーキャンペーンと併用することはできるのか。

事務局

併用はできない

委員

色んな補助金があるので自ら情報を探しにいかないと見過ごしてしまう方が多い。できるだけいろんな角度から積極的に情報発信を行ってほしい。

委員

先日、テレビで名古屋の駅で販売しているケーキなど、今まで車で運んでいた商品を電車で運ぶという事業が取り上げられていた。例えば旧町村地区の商品をおいでんバスで運ぶといった事業は可能か。

委員

稲武地区では既に行っている。

(3) 中心市街地商業現況調査

商業観光課から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

大型店のテナント数が大きく減っているが、これはコロナの影響で、家賃が高く撤退してしまったといった理由か。

事務局

その影響も大きいと考えている。

委員

コロナの影響を受けて融資を借り入れした事業者の返済が1, 2年後くらいから始まり、ひっ迫した状況になってくるのではといった話をよく聞く。コロナが収まった後も支援が必要になってくるのではないかと感じた。

委員

自分の店は大型店のテナントになっているが、中心市街地全体が盛り上がらないと集客が難しい。色んなイベントを企画しても感染症の影響からお客様の反応が薄いことが多かったが、最近はサッカーの観戦者が増えるなど、街中が賑わいを取り戻しつつあると感じている。再び緊急事態宣言が出るとかなり厳しい状況になってしまうため、感染者を出さないように気を付けながら経済活動を続けていきたい。

委員

松坂屋の跡地の入居店舗が発表されたため、オープンと同時に周辺の店舗も盛り上がっていけると良い。